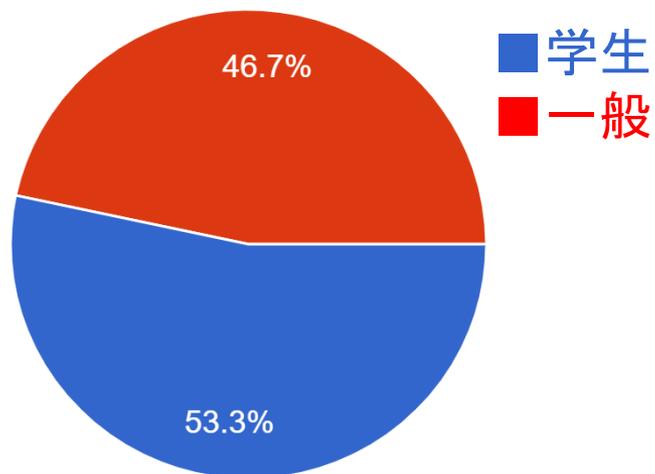


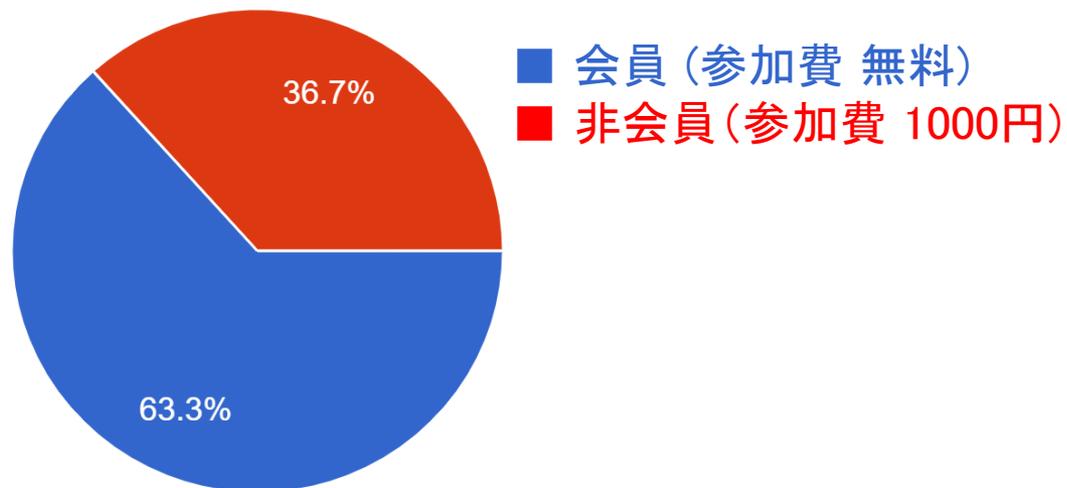
2021年日本地球化学会ショートコース

参加者 (申込者: 60名)

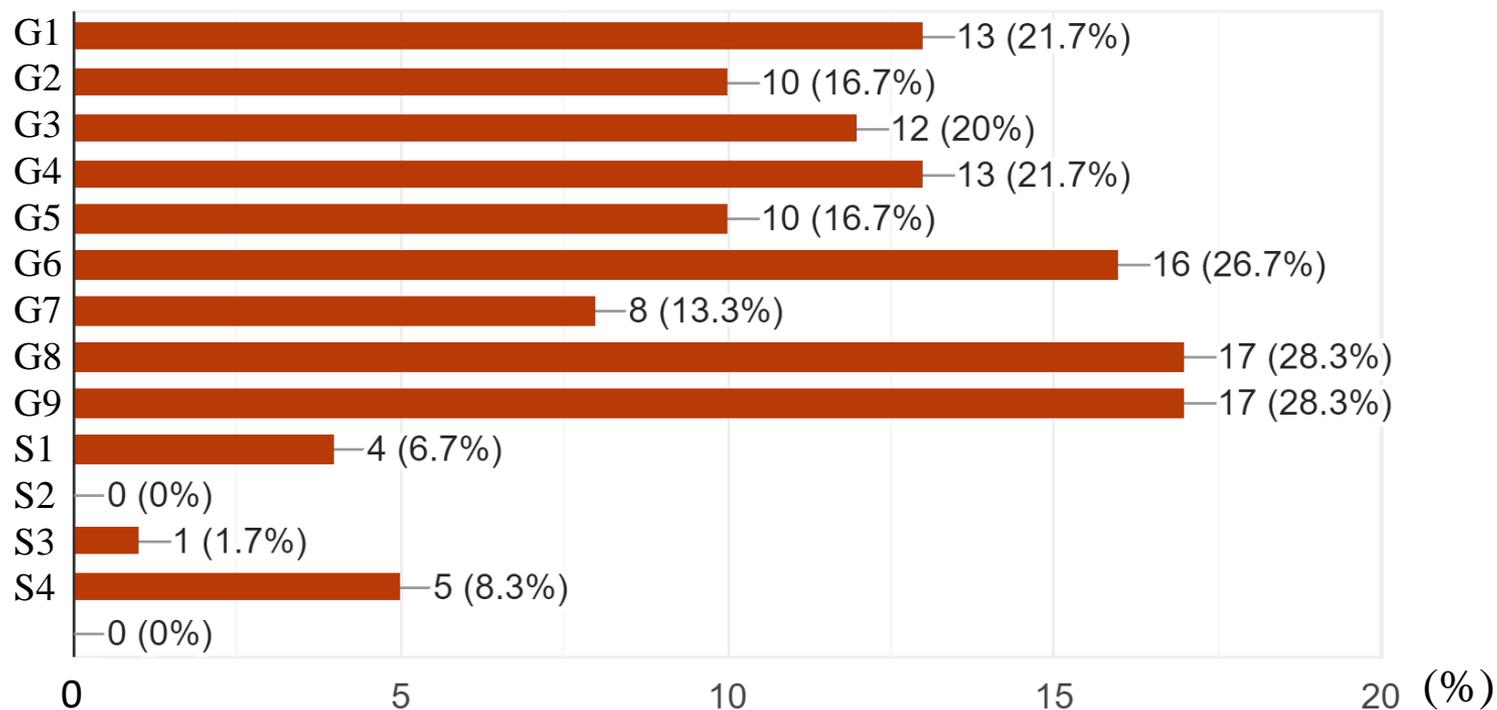
・ 身分



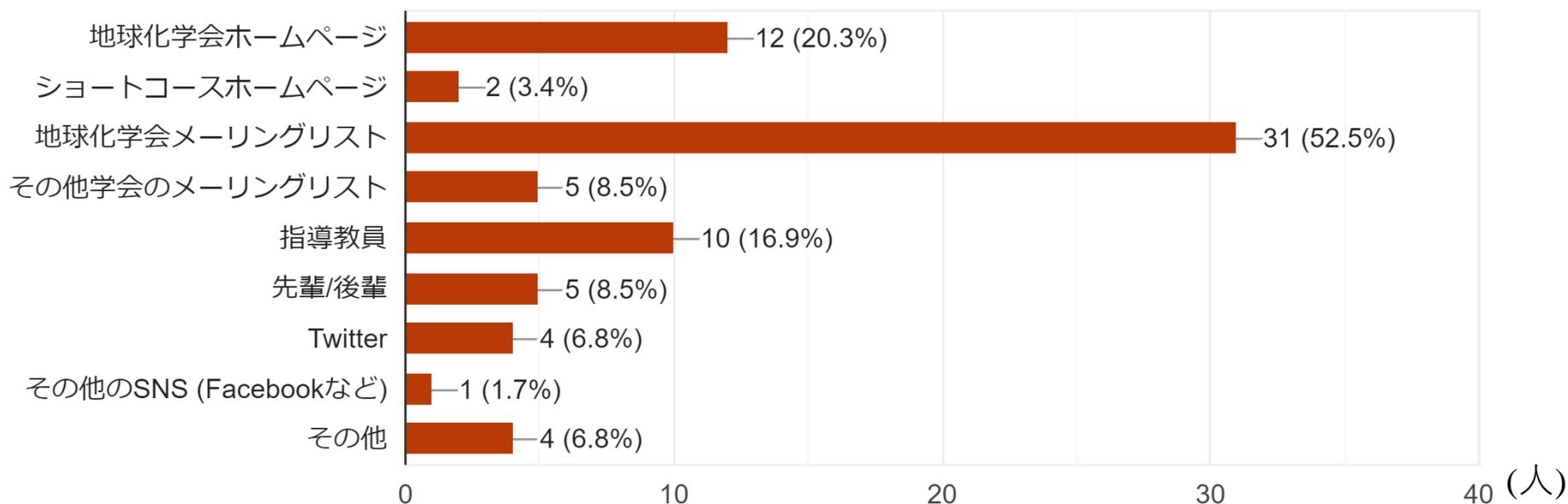
・ 地球化学会の学会員ですか？



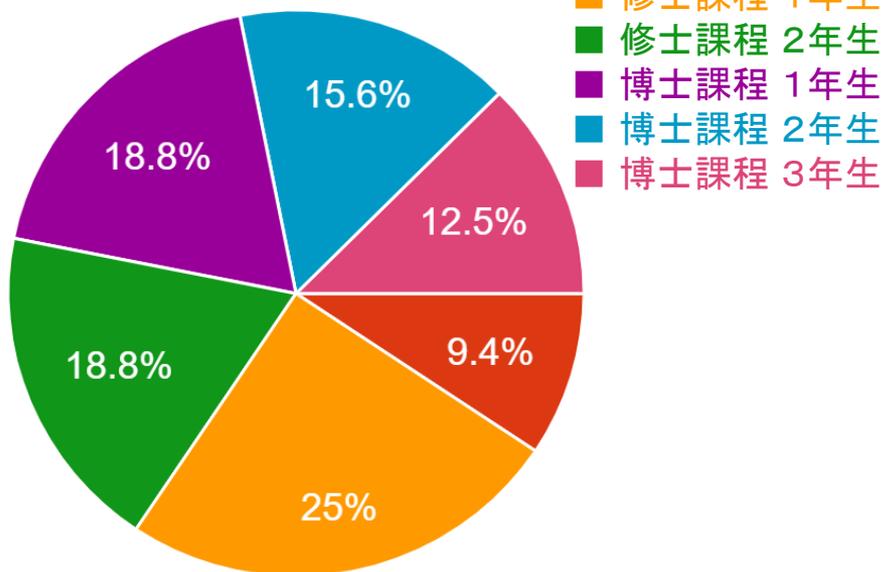
・ 関連するセッションを選択してください？



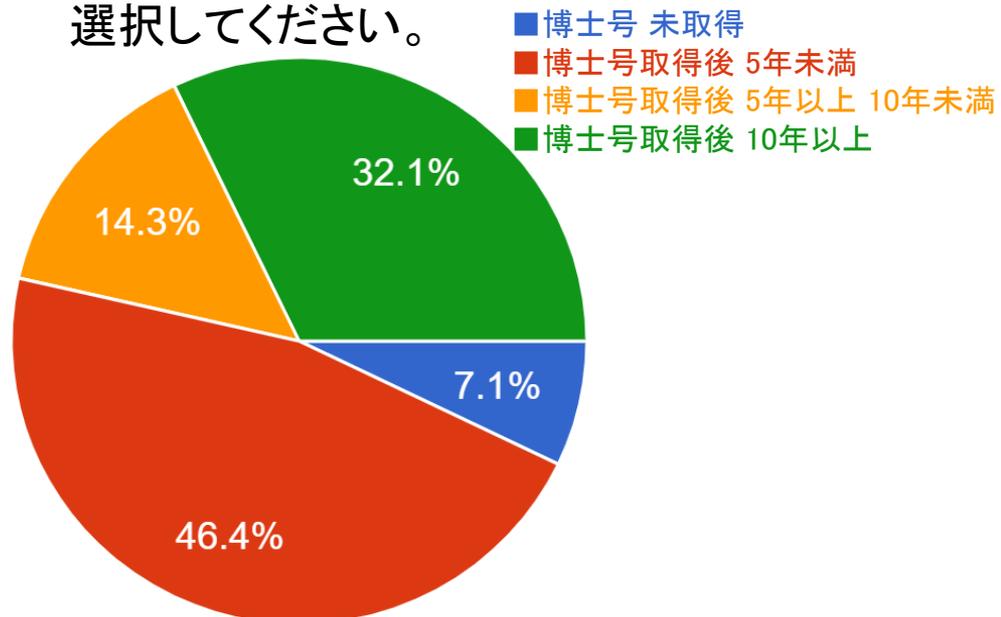
・このショートコースについて、どこで知りましたか？



・学年



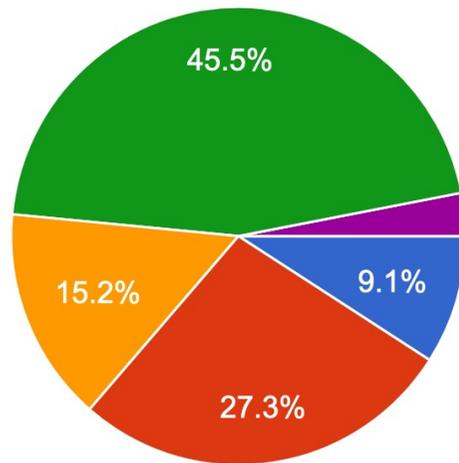
・博士号取得の有無と取得後の年数を選択してください。



2021年日本地球化学会ショートコース

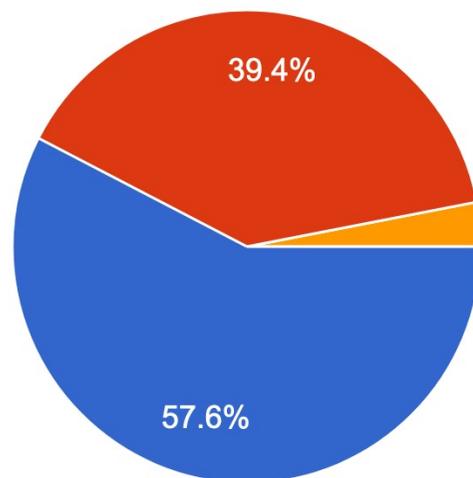
アンケート結果 (回答: 33件)

1. 身分をお聞かせください



- 学部生
- 大学院生 (修士課程)
- 大学院生 (博士課程)
- 研究員, 教員
- 会社員 (地質職)

2. 2021年日本地球化学会ショートコース全体について



- 非常に良かった
- 良かった
- どちらでもない
- あまり良くなかった
- 良くなかった

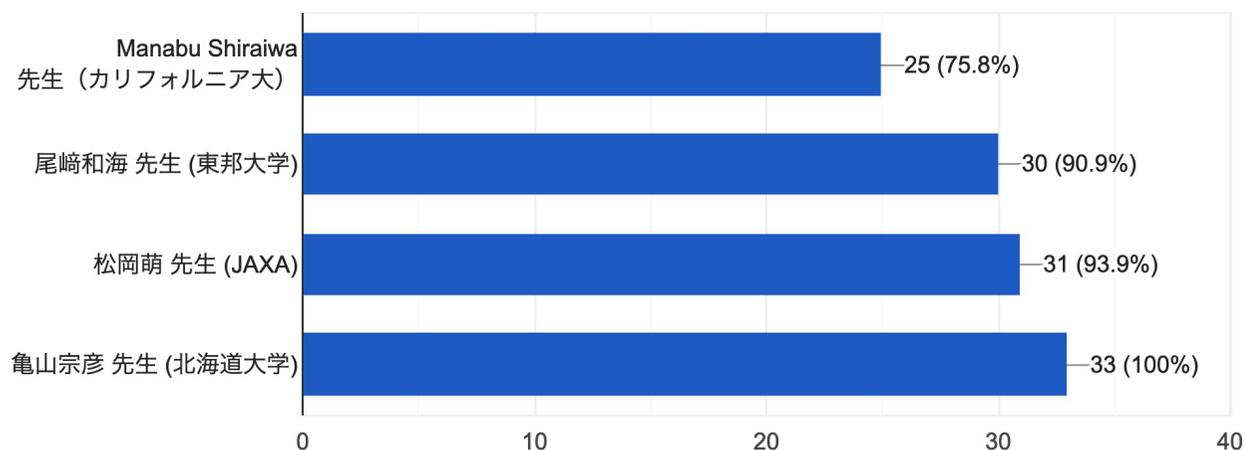
その理由をお聞かせください (回答: 非常に良かった, 良かった)

- 様々な分野の先生方のお話を聞いた点
- 若手研究者たちが集まっていて、気軽に発言ができるようになります。
- 初参加でした。オンラインかつ時間が短かったので、参加しやすかったです。
- すべて面白いお話しでした！プレゼン企画もとても良い教材だったと思います。ありがとうございました！
- どのご講演も非常に面白かったですが、質疑の時間が少なかったのが少し残念でした。
- 様々な分野の先生のお話を聴くことができたから。
- 最先端の研究について知ることが出来た。
- 準備がしっかりされていて、細かいところまで工夫されているなと感じました。
- 自分のあまり知らない分野の地球化学の研究に触れる機会をいただけたため。
- 先生方のお話を伺えたのはもちろんですが、参加型の企画があったのは非常に良かったと思いました。
- 発表中に質疑応答があるのもっと良いと思いました。
- どんな形であれ、今回担当の運営委員の皆さんが自分の知恵を絞って企画されていたため
- 普段は分野の異なる研究者の方の講演を聴く機会が多くないので、とても勉強になりましたし、研究へのモチベーションが高まりました。
- 普段聞けない地球化学のトピックスをオンラインで聞くことができたから
- 地球化学の幅広い分野について、最新の動向を学ぶことができたから。
- 関連のオンラインセミナーの中でも秀逸です。よく考えて構成されていていて、でも、いい意味で手作り感があつたかくてよかったです。

その理由をお聞かせください (回答: 非常に良かった, 良かった) (続き)

- 講師の先生方の研究テーマについて、基本的なところからディープな内容までお話しされていた事で、流れが理解しやすいと思いました。また、グループディスカッションを通して、研究発表の仕方についても見直すきっかけにもなったと思いました。
- 初学者にもわかりやすい内容であったため。
- 興味深い話を聴けたため
- 講演プログラムだけでなく朝活セミナーや運営委員企画があり非常に面白かったです。また学生でも気楽に参加できる雰囲気でした。
- 会場が一つ、講演者が魅力的、運営がスムーズ、匿名で質問できる、安い
- とてもフレンドリーな司会と講演の雰囲気に参加しやすかったです。
- 研究内容だけでなく、講演者の皆さんの研究に対する姿勢がとても良い刺激になった。海外の事情も知ることができて良かった。
- 委員さんからの事前案内や、当日の進め方がとても丁寧だったと思います。講師の先生方のお話も、裏話が入ったり、導入が丁寧で分かりやすかったです。
- 講演4題を合わせて、科学の話とキャリアの話がちょうどいい塩梅だったと思いました。
- 講演内容も企画内容も大変興味深く、勉強になりました。

3. どの先生のご講演に参加しましたか



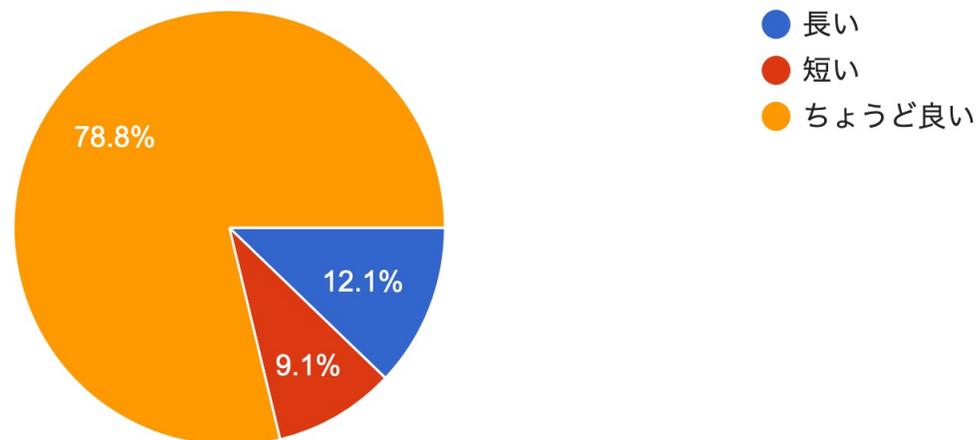
ご講演について、感想をご自由にお聞かせください

- 各先生方個性が出ていて面白かったです！亀山先生が特に印象に残りました。
- 最先端の研究だったため理解が追いつかない部分もありましたが、図や写真などで非常にわかりやすく解説いただけて分野に関しての理解が深まりました。ありがとうございました。
- さまざまなバックグラウンドの方の最新の研究や若手に向けたメッセージを伺えて、いろいろと勉強になりました。
- 質問時間は発表時間の2割くらいとってもよいのではと感じた。自分もやりがちだが、演者に持ち時間全てを伝えるとそれでも話きれないくらいの時間を持つてくるので、リジッドに話す時間と質問時間を分けて設定した方がよいのでは。
- 松岡先生のご講演は今最も注目されている分野の一つということでとても興味深かったですし、またSugita et al., (2019)のスペクトルの類似性の部分の疑問が解消されたのでここで聴くことができ良かったと思います。

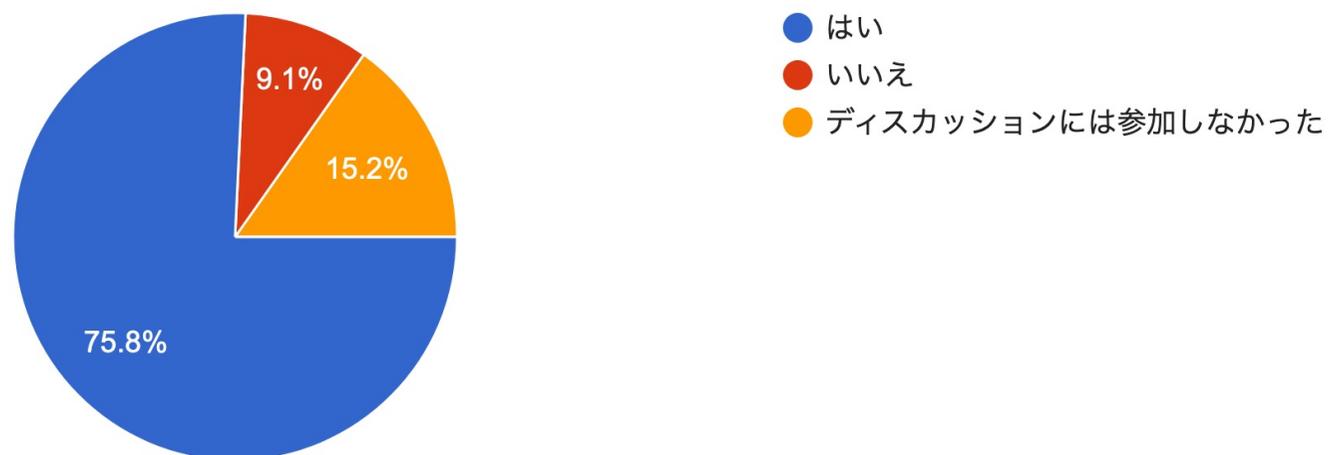
ご講演について、感想をご自由にお聞かせください (続き)

- どの講演者の方の発表も非常にわかりやすく、素人の自分も置いていかれることなく聞くことができました。特に、白岩先生に「研究はどのタイミングでもできる」とお答えいただいたのが印象的でした。自分が扱っている地質データは組織の方針で論文化できないのですが、いつか自分のやってきたことを論文にできたらいいなと実感できるいい機会になりました。ありがとうございました。
- 講演はそれぞれよかったです。委員でそれぞれ担当をしていたのもいいと思いました。
- 自身は地球化学的な分析をやらない古生物学者です。したがって背景知識はありません。ですが、すべての講演で難しい話が無く、しっかり楽しめました。驚きました。むしろ専門の方には物足りないんじゃないかと思うほどでした。都合がつけばまた参加したいと思いました。
- 白岩先生の海外の研究のご様子は大変興味深くお聞きしました。海外へはなかなか行けませんが、日本にいても広い視野を持ちたいと思いました。尾崎先生のお話では今までのバイオシグニチャーでは生命の存在はわからないかもしれないとのこと。なるほどと興味深く拝聴いたしました。松岡先生の宇宙風化については、とても興味があり自分でもいろいろ論文を読みたいと思いました。亀山先生にはご自分の研究をご紹介されながら研究の姿勢を教えてくださいました。グループセッションの間違い探しでは楽しく参加させていただきました。様々な意見をとても的確にまとめていらしたのが素晴らしかったです。
- 講演者の皆様の研究に対する夢や強いモチベーション、どうやって研究を積み上げていっているか伺えたことは、自分に対する活気づけにもつながった。
- できれば、講演時間にバッファがもう少しあって、質疑応答の時間をもう少し取れると良かったとも思いました。
- Shiraiwa先生のご講演が非常に良かったです。ご経験を踏まえた様々な有益なアドバイスがあり、非常に熱意を感じて感動しました。

4. ご講演の時間について

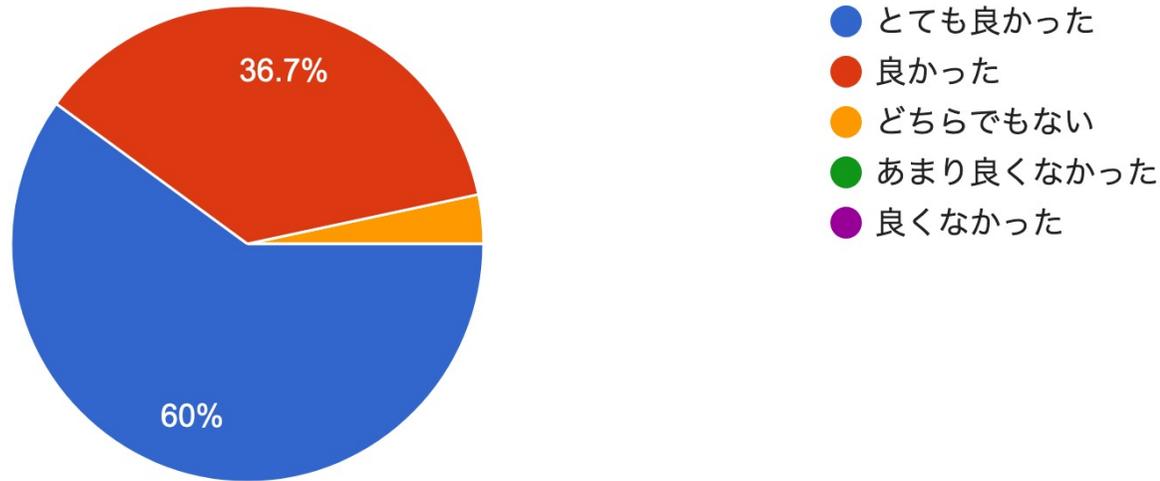


5. 運営委員企画「伝わりやすい発表について考える」に参加しましたか？



運営委員企画について

1. 企画全体を通していかがでしたか？



2. その理由をお聞かせください (回答: とても良かった, 良かった)

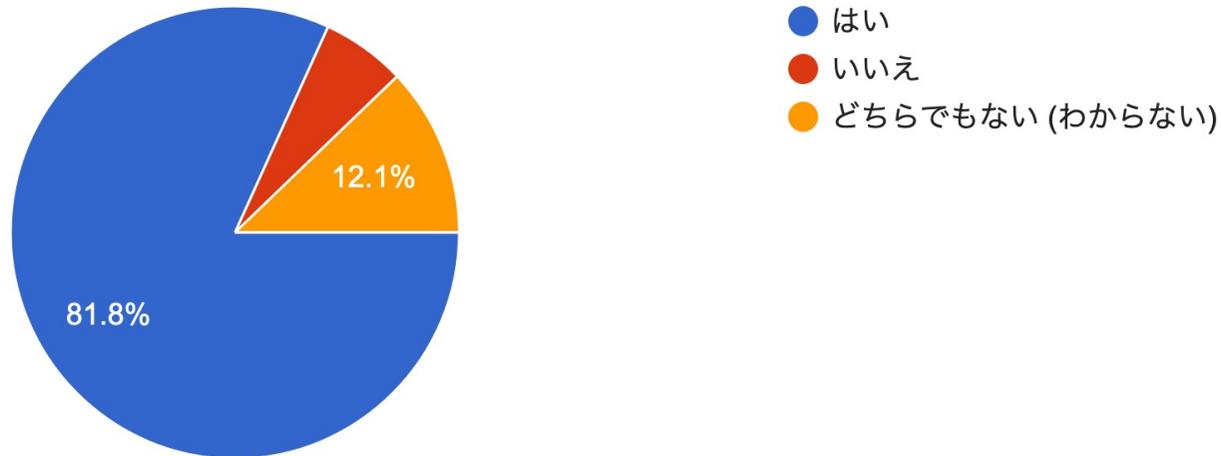
- 教材がとてもよかったです。(仕方のない点ですが) 現地開催だったら、もう少しグループ内の他の方々とも interactive に話せたのかなと思いました。
- 時間がかかることは承知の上ですが、それでも発表全体、特に結果や考察のスライドや発表内容に関してよりよい伝え方をみんなで考える時間があれば、より有意義な企画になったのではないかと個人的に感じました。ぜひ次も参加させていただきたいと思っています。
- 最先端の研究のお話が聞けたこと
- せっかくなので参加している学生さんに発表する機会を与えてあげられれば尚よかったのかなと思います。
- この企画がなければここで指摘されていたことと同じようなミスを自分はやってしまったと思うので、そのことに気づくことができ大変勉強になった。

2. その理由をお聞かせください (回答: とても良かった, 良かった) (続き)

- 重ねてになりますが、出席者参加型の企画はとても面白いと思いました。
- シニアがいないブレイクアウトルームに入れて、若手が気兼ねなく発言できる状況を作ったのはたいへんよかったと思う (本来シニアが参加しなければ、会自体がそうなるのだけれど) 。ただブレイクアウトルームの中でも話しているのポスドクやDの学生ばかりということになっていなかったかということは少しだけ気になる。
- 各参加者が気兼ねなく発言できる空気感があって参加しやすい印象でした。駆け出しの研究者が、行ってしまいがちな伝え方について見直すことができたから。
- おそらく若い人にはすごく関心の高いテーマだったのではないのでしょうか。さらに、練りに練ったクイズ形式は参加者が自主的に参加するのに非常に有効な方法だったと思いました。ここでもいい意味で手作り感が非常にいい印象でした。ブレイクアウトルームが盛り上がったのはこれら企画委員の作り上げた頑張りの結果だと思います。
- 今回の企画を通して、スライド作りで普段気をつけるようにしていることや、改善すべき癖について見直すための良いきっかけとなったからです。
- 自分の発表を振り返る良い機会になったため
- よく分担してスムーズに運営されていたと思います。いい雰囲気ショートコースになっていたと思います。
- 学生向けということでしたが、全体がとても興味深く楽しく参加できました。ありがとうございました。
- またコロナ禍でなかなか対面でこういったことをお話しできる機会がなかったので、このような企画をしていただいたことは、とてもありがたかったです。ありがとうございました。
- 参加者が発表を聞くだけでなく、議論する時間があるのは良い企画だと思いました。ブレイクアウトルームには参加していないので、中の様子は分かりませんが、外から見ると、1部屋の人数が10人前後だと、人数がやや多いかな?とも、ちょっと心配しました。
- 進行がスムーズで、内容もとても勉強になりました。

オンラインショートコースについて

1. オンラインでのショートコース開催は持続すべきと思いますか



その理由をお聞かせください (回答: はい)

- オンラインの方がどこにいても参加できるので。先ほど現地開催の方がinteractiveに議論できるとは言いましたが、けっきょくオンラインのメリットの方が大きいと思います。
- 移動を伴わずに参加できるのは嬉しいから
- 地球化学分野は日々の進歩がはやく、若い人でこの分野に興味のある人も多い印象があるので、最先端の研究に触れられる機会の一つとして存続すべきと感じる。
- 今後どうなるかわからないコロナ禍で、こうした機会はとても貴重だと思います。
- 海外の方のお話を伺えることや、地方在住であっても気軽に参加できるため。
- 開催会場が遠方でも、移動費用・時間をかけることなく、ショートコースに参加できるから。

その理由をお聞かせください (続き)

(回答: はい)

- 参加しやすい。時期の設定がしやすい。学会直前だと若い人は発表の準備で集中して参加できないので。
- 今後のコロナ禍の状況次第もありますが、当日現地で参加できない人のためにハイブリッド形式で参加の機会を与えるという意味でも、必要かと思います。
- 参加しやすいから
- 知識を得る良い機会となるため
- 学生や若手には緊張せずに参加できる機会ではないかと思います。
- 分かりやすい、学会で聞けない話が聞ける (特にキャリアパスとか生存戦略とか)、若い人の話が聞ける。
- また参加してみたいと思います。
- 対面ができる状況になれば、対面になったほうが直接後でディスカッションできるというよい面もあるが、オンラインであれば、前後の都合がつけやすかったり、遠距離でも参加しやすいというメリットもあるから。
- 遠方の方でも気軽に参加できるのがメリットだから。
- 現在の授業形式のショートコースは、オンラインの方が、参加のハードルが低いし、講師も遠方や地球化学会外の人呼びやすいし、良いのかなと思いました。年會に付属させた現地企画をやるにしても、昔の若手シンポジウムのように、学生・若手が発表しあったり、グループワークしたり、若手の交流がメインとして、役割を分けると良いのかなとも思いました。
- 参加しやすいと思います。

その理由をお聞かせください（続き）

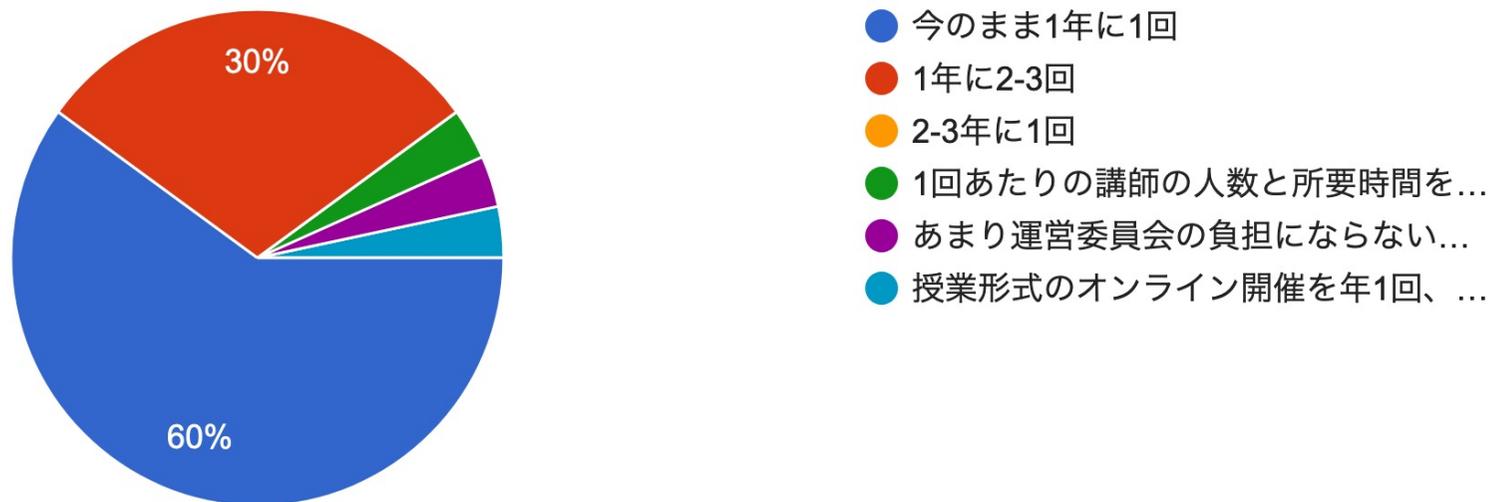
（回答:いいえ）

- 対面の方が良いと思うから
- 対面の方が細かなニュアンスが伝わったり、個々の情報交換などもしやすいと感じるためです。

（回答:どちらでもない）

- 今年度から参加したため、現地開催で十分なのか分からない。
- 対面でできるならその方がよいし、対面でかつオンライン参加（とくに講師）もできるとなおよいと思うので、「オンラインでのショートコース開催は・・・」と問われるとどちらでもないということになる
- 研究者ではない自分にとって、石油業界から離れた方々のお話をオンラインで伺えるのはとてもいい機会と考えています。しかし参加者の方々がほとんど学会内なのであれば、無理にオンライン開催にする必要はないのかなと思います。
- 対面ができる状況になれば、対面になったほうが直接後でディスカッションできるというよい面もあるが、オンラインであれば、前後の都合がつけやすかったり、遠距離でも参加しやすいというメリットもあるから。

2. 「はい」の場合、どのくらいの頻度で開催したら良いと思いますか



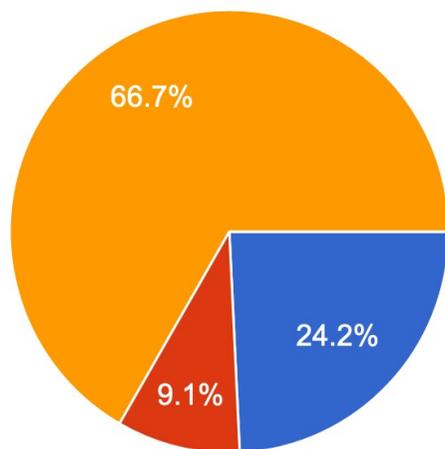
3. 今後のショートコースでお話を聞いてみたい講師はいますか

- 関根康人教授 (ELSI) 、川口慎介研究員 (JAMSTEC)
- 橋口未奈子助教、日比谷由紀助教、川崎教行助教、羽場麻希子助教、牛久保孝行さん
- 豊福高志さん (JAMSTEC), 高木悠花さん (千葉大学)

4. 関心のある研究テーマをお聞かせください

- 海洋化学、海洋生物学、海洋物理学
- 宇宙化学、同位体、物質循環・進化
- 隕石の組成や同位体から考える太陽系初期の進化
- 地球内部における揮発性元素のフラックス
- 宇宙化学
- 隕石の同位体年代分析：特に衝突史に興味を持っています。
- 沈み込み帯の物質循環，研究者のキャリアパス
- 安定同位体地球化学、大気・海洋化学、物理化学、アストロバイオロジー
- 物質循環
- 古気候，古環境，生物進化
- 小惑星の分類について
- はやぶさ関連、窒素循環、環境化学

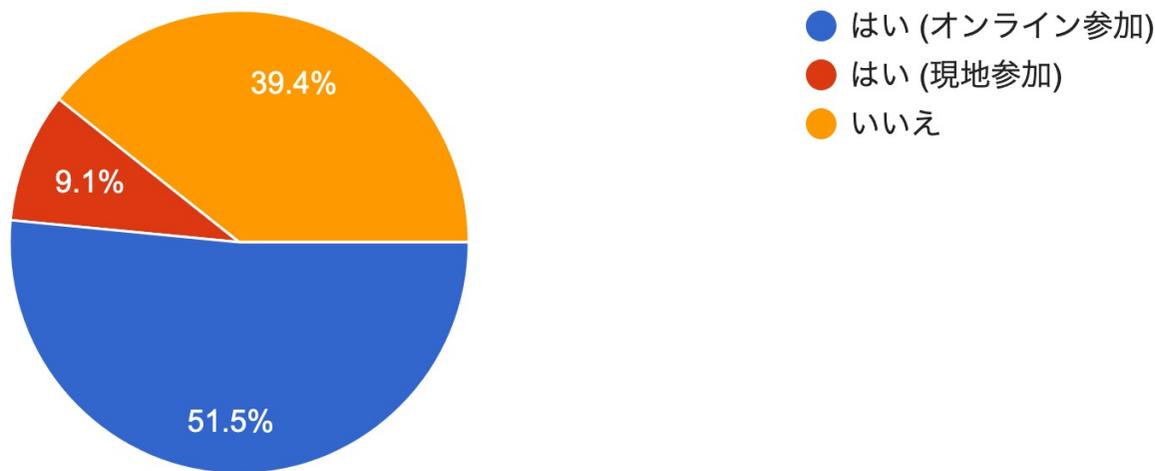
5. オンラインショートコースの参加費について



- 安い (会員の方)
- 安い (非会員の方)
- ちょうど良い
- 高い (非会員の方)

ショートコース全体や2021年度地球化学会第68回年会について

1. 2021年度 地球化学会第68回年会へは参加予定ですか？



今回、もしくは今後の日本地球化学会ショートコースについて、また、地球化学会年会について、ご感想ご意見があればご自由にお書きください

- ショートコースでは、地球化学会に普段参加されていない方のお話を聞けることはまた貴重だと思います。
- ショートコースを若手主体の運営にするなら、若手会という位置づけにしてもよいのでは。
- ショートコースの運営委員はいいチームだと思いました。このつながりが将来いい形で生きていると思います。
- 今回のように、学会の前日ではない日程に開催するのは、学生にとっては参加しやすいかもしれないと思います。午前の半日という開催時間帯もオンラインならではで、よいと思いました。
- 運営委員の皆様の知恵と工夫がちりばめられていてとても良い雰囲気でした。参加させていただきありがとうございました。
- 今回も楽しく参加させていただきました。運営の皆さま、ありがとうございます & おつかれさまでした！